



長面でダウンバースト現象が発生か（7月8日）

長面地区で突風が発生し、住宅屋根の破損やテレビアンテナの倒壊、倒木などの被害が発生しました。気象庁機動調査班の現地調査によると、発達した積乱雲から吹き降ろす下降気流の影響で「ダウンバースト現象」が発生した可能性が高いことが分かりました。

付近の住民は、10分ほど強風が続き、とても怖がったと話していました。

この行事は、18年前から毎年行われているもので、江戸時代に参勤交代で大名行列が羽州街道を通り、早川を渡った史実を再現しています。

子どもたちは、それぞれ大名や足軽、飛脚など時代劇のような衣装を身にまといて川を渡り、当時の雰囲気を味わいました。

早口小学校で、児童や保護者などが参加して、早口川を徒步で渡る「徒渡り」が行われました。

早口小学校徒渡り（7月11日）



扇田神明社祭典（7月16日）

扇田神明社の例大祭が行われ、みこしやはやし山車がにぎやかに練り出しました。

神事が行われた後、神社のみこしが出発。巫女を乗せた神宝車、稚児車、おみこし、神馬と続く行列が、扇田の各町内を練り歩き、沿道の市民から拍手を浴びていました。

また、午後からは各町内の子どもみこしも練り出し「フッショイ、フッショイ」の元気な掛け声とともに町内を練り歩きました。



▲ 威勢の良い掛け声が響きました



迫力ある演舞が繰り広げられました

ハチ公ヤートセまつりで観客沸く（7月18日）

「ハチ公ヤートセまつり」があおまちハチ公通りで開かれ、躍動感あふれる演舞が詰め掛けた大勢の観客を魅了しました。

ヤートセまつりは、チームでおそいの衣装を身にまとい、アレンジした音楽に合わせて踊るまつり。中心市街地のにぎわいを創出しようと、大町商店街振興組合が初めて企画し、県内外から11団体が参加しました。

一部を歩行者天国にした通りでは、各団体の迫力ある演舞やあっという間に衣装を替えるパフォーマンスが次々と繰り広げられ、沿道に集まった観客からは大きな拍手が上がっていました。

このイベントは、不用品の再利用や環境への関心を高めようと毎年開催されていて、今年で4回目。東北最大規模と言われるフリーマーケットは、約300区画の出店ブースが会場いっぱいに広がり、気に入った商品を品定めして買いためる家族連れなどでにぎわいました。

また、市内の物産やイベントの紹介のほか、協賛イベントとして開催された「大館工コフェア」では、リサイクル製品やパネルなどを展示して環境への取り組みをPRしていました。

大盛況！エコフェア&マンモス（7月18、19日）

